

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和 6 年度 第 1 回加須市ゼロカーボンシティ協議会
開催日時	令和 6 年 1 1 月 7 日（木） 午後 3 時 3 0 分から午後 5 時 0 0 分まで
開催場所	加須市役所 5 階 5 0 4 会議室
議長氏名	浅野和生
出席委員	浅野和生、有賀健高、中里孝、杉沢正子、森田勝美、前田義克、谷川拓也、大河内修治（代理）、伊東哲也、藤田直樹、鈴木祐介、若山敬、金井陽一郎、佐藤政和、大和広明、高林蓮
欠席委員	斎藤清、坂本優太
オブザーバー	稲子谷昂子（環境省関東地方環境事務所） 山井毅（埼玉県環境部温暖化対策課）欠席
アドバイザー	八林公平（環境省脱炭素まちづくりアドバイザー）
会議次第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 会長・副会長の互選 4 会長あいさつ、副会長あいさつ 5 市長あいさつ 6 協議会委員・オブザーバー、アドバイザー、事務局職員紹介 7 議 事 （1）加須市ゼロカーボンシティ推進協議会 （2）本市の取組み状況 （3）基調講演（脱炭素まちづくりアドバイザーより） （4）意見交換 8 その他 9 閉 会
会議資料 の名称	【資料 1】加須市ゼロカーボンシティ推進協議会 【資料 2】本市の取組み状況 【資料 3】基調講演
会議の公開又は非公開の別	公開

非公開の理由	
傍聴者の数	なし
説明者の 職・氏名	環境安全部環境政策課長 前田辰男
事務局職員 職・氏名	環境安全部長：増田浩之、環境政策課長：前田辰男 同課主幹：鈴木深雪、同課主査：阿久津健介 騎西総合支所地域振興課長：伍井正巳 同課主査：関口貴光 北川辺総合支所地域振興課長：竹村理宏 同課主査：渡辺重雄 大利根総合支所地域振興課長：阿部浩明 同課主幹：小野田義明
会議録の 作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要 な事項	なし

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開 会
角田市長	2 委嘱状の交付
	出席委員
事務局	半数以上の委員が出席のため、加須市ゼロカーボンシティ推進協議会設置要第5条の規定による会議開催の定足数を満たしていることを報告
	3 会長・副会長の選出
事務局	加須市ゼロカーボンシティ推進協議会設置要綱第4条の規定により、会長及び副会長を委員の互選により定めることとあり、同要綱第5条の規定により、会長が議長となるとあるが、会長が空席であるため、会長が決定するまでの間、会議を進行する仮議長を選出する。仮議長に角田市長を充てたいが、よろしいか。
委員	(異議なし)
角田市長 (仮議長)	会長が選出されるまでの間、暫時仮議長を務める。 会長副会長の選出につきましては、加須市ゼロカーボンシティ推進協議会設置要第4条の規定により、委員の互選により定めるとのこととあるがいかがか。
	(意見なし)
角田市長 (仮議長)	特に意見はないが、事務局に腹案はあるか。
事務局 (前田環境政策課長)	(あり)
角田市長 (仮議長)	事務局案で進めてよろしいか。
委員	(異議なし)
事務局 (前田環境政策課長)	会長に浅野委員、副会長に前田委員にお願いしたい。
委員	(異議なし)
角田市長 (仮議長)	異議なしであるため、浅野委員と前田委員、お引き受けいただけるか。
浅野委員 前田委員	(了承)
浅野会長	4 会長あいさつ
前田副会長	副会長あいさつ
角田市長	5 市長あいさつ

事務局	6 協議会委員・オブザーバー、アドバイザー、事務局職員紹介
発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
浅野会長 (議長)	7 議事
事務局 (前田環境政策課長)	(1) 加須市ゼロカーボンシティ推進協議会 (資料 1-1, 資料 1-2 説明)
	(質疑応答) なし
事務局 (前田環境政策課長)	(2) 本市の取組み状況 (資料 2-1, 資料 2-2, 資料 2-3 説明)
	(質疑応答)
谷川委員	資料 2-3 の「6 農業」に農業経営体数や農業就業者数の記載があるが、この資料を提示した意図は何か。
事務局 (前田環境政策課長)	経営体数というよりは、田や畑がどのくらいあるかといった経営耕地面積(ha)を参考にお示しさせていただいた。
杉沢委員	二酸化炭素の排出量については細かく明示されているが、吸収量の部分が全く見えない。吸収量の部分が見えないと、ゼロカーボンを議論できないと思うが、どう捉えたらよいか。
事務局 (前田環境政策課長)	ご指摘のとおり、本来の在り方として、二酸化炭素の排出量から吸収量を差し引いたものが総排出量であるが、吸収量については、元になる数字を掴められない状況であるので、今後、関係者の皆様のご意見等をいただきながら整理して参りたい。
八林氏 (オブザーバー)	(3) 基調講演(脱炭素まちづくりアドバイザー) 「中小企業に求められる脱炭素経営と地域価値の向上」
浅野会長 (議長)	(4) 意見交換
大和委員	事務局へのお願いであるが、脱炭素を進める上で、紙ベースでの資料配布は問題視されているところであるので、希望者には電子ファイルで配布し、パソコンを持参するなどそのような形で進めていければよいと思うので、可能であれば検討いただきたい。
事務局 (前田環境政策課長)	検討する。

谷川委員	ゼロカーボンとは、二酸化炭素を削減するために色々我慢をしなければならないといった印象を受けた。例えば、「地元のモノを食べることで、遠くからモノを持ってこなくて済むから、地元のおいしいものを食べようね」といったような、もう少しポジティブなこと、みんながやってみたいというような落としどころを見出せると、本当の意味があるものになると感じた。
佐藤委員	この協議会のゴールはどこで、そのゴールまでにどのくらいの頻度でやっていくのか教えていただきたい。
事務局 (前田環境政策課長)	協議会のゴールはまだ明確に打ち出せていない。今後の会議は、今年度は3月に1回、その後、年に2回を予定している。その間に、例えば、アンケートで意見をいただくなどして、まずは来年度どうするのかということと、令和8年度に向けてどうしていくのかということを考えていきたい。令和7年度については、市としてできること、事業者の皆さままでできることなどについて話し合いや情報共有ができるような環境づくりを進めていきたいと考えている。その後、令和8、9年度予算に向けて検討して参りたい。
杉沢委員	会議での話し合いや専門家の先生の話聞いてもなかなか煮詰まった意見は出てこない。谷川委員のところ伺ったことがあるが、本当に楽しく活動されているし、お子様も伸び伸びいきいきしていて、本当の教育、本当の農業だと実感している。可能であれば、現場に行ってみんなで研修する、実際に活動している方の話を聞くなどの機会を、この協議会でできたら少し先に進む希望が見えると思うので提案する。
浅野会長 (議長)	8 その他
事務局 (前田環境政策課長)	(特になし)
事務局	9 閉 会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和6年 12月 20日 署名 <u>浅野和生</u>	